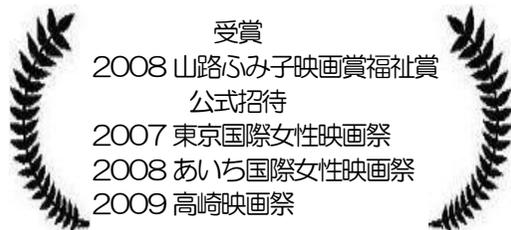


DVDニューリリース

「心理学者 原口鶴子の青春 100年前のコロンビア大留学生在が伝えたかったこと」

Japan/Color/91Mins/2007/Documentary/DVCAM 芸術文化振興基金助成作品



受賞

2008 山路ふみ子映画賞福祉賞

公式招待

2007 東京国際女性映画祭

2008 あいち国際女性映画祭

2009 高崎映画祭

1907年、22歳で単身ニューヨークコロンビア大学大学院に留学し、日本女性初の心理学博士号を得た原口鶴子。帰国後、これからというとき、29歳の若さで、二児を残しての世をさった。この知られざる女性心理学者の足跡に光をあて、多くの感動と共感を呼んだドキュメンタリー映画が待望のDVDになりました！

価格 個人視聴用 3800 円
学校・図書館・公共機関等団体視聴用 25000 円※
※施設内貸出、施設内非営利上映可

商品内容

日本語本編 91 分+特典映像（英語字幕版 91 分+劇場用予告編 2 分）、
解説リーフレット「心理学史の中の原口鶴子」「映画を製作して」「英文概要」
日本・カラー・片面 2 層・2Ch ステレオ・リージョン ALL・NTSC・2007

キャスト

企画・制作・監督・脚本・編集……泉悦子
撮影……秋葉清功 音楽・音響効果……金子文郎
鶴子の声……五大路子 ナレーション……大和田伸也
製作・配給・販売 テス企画 <http://www.sepia.dti.ne.jp/tess/>



作品概要

原口鶴子は日本女子大学で社会運動家である平塚らいてうと同級生ですが、志半ばで亡くなったため日本ではあまり知られていません。泉悦子監督が鶴子のお孫さんと偶然知り合い、鶴子の生き方に感銘を受け、先駆的女性の一生を埋もれさせたくない、日本とニューヨークで徹底取材、ビデオカメラをもってひとり足跡をたどり始めたのが製作のきっかけです。

完成以来、読売、朝日はじめとする各新聞、NHKの『ラジオ深夜便—こころの時代』、キネマ旬報などで取り上げられ高い評価を受け、2007年から現在まで国際女性映画祭や全国の独立系映画館、大学、自治体のセンター、日本心理学会、教育心理学会などの大会で公開されています。映画評論家白井佳夫、映画監督羽田澄子、同・浜野佐知、作家の有吉玉青ら各界から、100年前の先駆的女性の発掘に驚きと賞賛のコメントが寄せられました。2008年には、泉悦子監督が、本作品の企画・プロデュース・脚本・編集・監督の優れた活躍に対し第32回山路ふみ子映画賞福祉賞を受賞。2009年12月、ニューヨークでの上映会は満員御礼となり、NYの日系新聞各紙に大きく取り上げられ反響をよびました。

製作・配給は（有）テス企画。泉悦子監督は早稲田大学を卒業後、（株）記録映画社を経て独立、100本以上の官公庁、企業のPRビデオの脚本、演出の実績をもち、87年、女性映画ファンでグループを立ち上げ「シネマジャーナル」を創刊。92年映像製作会社（有）テス企画設立。50歳で企業の映画基金を受けニューヨーク大学映画学科に短期留学し5本の短編映画製作。本作品は「NYで暮らしています 彼女たちがここにいる理由（わけ）」に続く自主製作第2作目の作品です。

注文、お問合わせ：テス企画 cinemajournal@mb.point.ne.jp

Tel & Fax 03-5991-3486 〒177-0044 東京都練馬区上石神井4-9-2